

タイラバ漁獲調査 ～マダイの習性を探る～

熊本県立天草拓心高等学校 3年海洋科学科 海洋航海コース

古閑本天飛、茂吉健、北川快頼、坂守慎

<研究概要及び目的>

全国的に注目を浴びているマダイ釣りの画期的な漁具であるタイラバの製作を7年前から行ってきた。タイラバは、仕掛を落として巻き上げるだけという簡単な操作で高い釣果が期待できるため、地元の漁業士の方々も多く利用している。タイラバ製作の技術や色、天候や潮汐・潮流などの違いによる漁獲調査に取り組んで5年目となる。これまでの結果を分析し、マダイの習性を探ることとした。

<実践活動の内容>

- (1) タイラバ (鯛ラバージグ) (2) 手作りタイラバ (1個¥250)



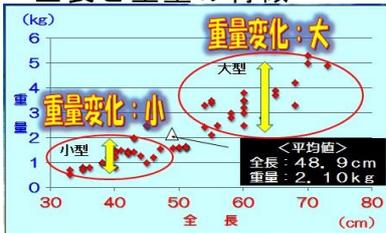
漁業士の方々等への聞き取り結果：鉛と擬餌針を遊動式とし、ヘッド色、スカート・ネクタイの色を4種類に分けて作製し、漁獲調査を行う。



<研究結果>

漁獲したマダイのサンプル61尾については、全長・重量等のデータを野帳にとり、その情報を元に分析を行った結果について報告する。(スカート・ネクタイの色)

ア 全長と重量の特徴



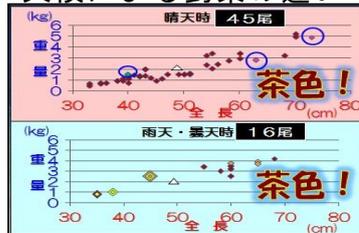
イ 風力による釣果の違い



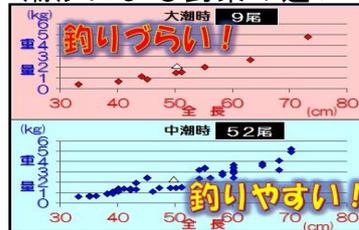
キ 流速による釣果の違い



ウ 天候による釣果の違い



オ 潮汐による釣果の違い



ク 漁獲時間帯による釣果の違い



<まとめ、考察>

- ア 漁業士、遊漁者の方々のアドバイスにより安価なタイラバを作製できた。
- イ 魚探を駆使してマダイが釣れるタイラバ漁場を開拓できた。
- ウ マダイ61尾について野帳を記入し、漁獲情報を得ることができた。
- エ マダイの全長と重量の関係では、全長が50cmを超えると全長に対する重量変化が大きく、その大きさ未満になると全長に対する重量変化が小さかった。
- オ ヘッド・スカート・ネクタイの色は茶色系の釣果が高かった。しかし、曇天時のヘッド色に限っては黄色・オレンジ系の釣果が高かった。
- カ 風力及び流速の変化による釣果に大きな違いはなかった。
- キ 昼前から夕方によく釣れている。上げ潮流より下げ潮流の方がよく釣れる。
- ク 大潮より中潮の時の方が潮流変化が少なく、着底確認しやすく、釣りやすい。